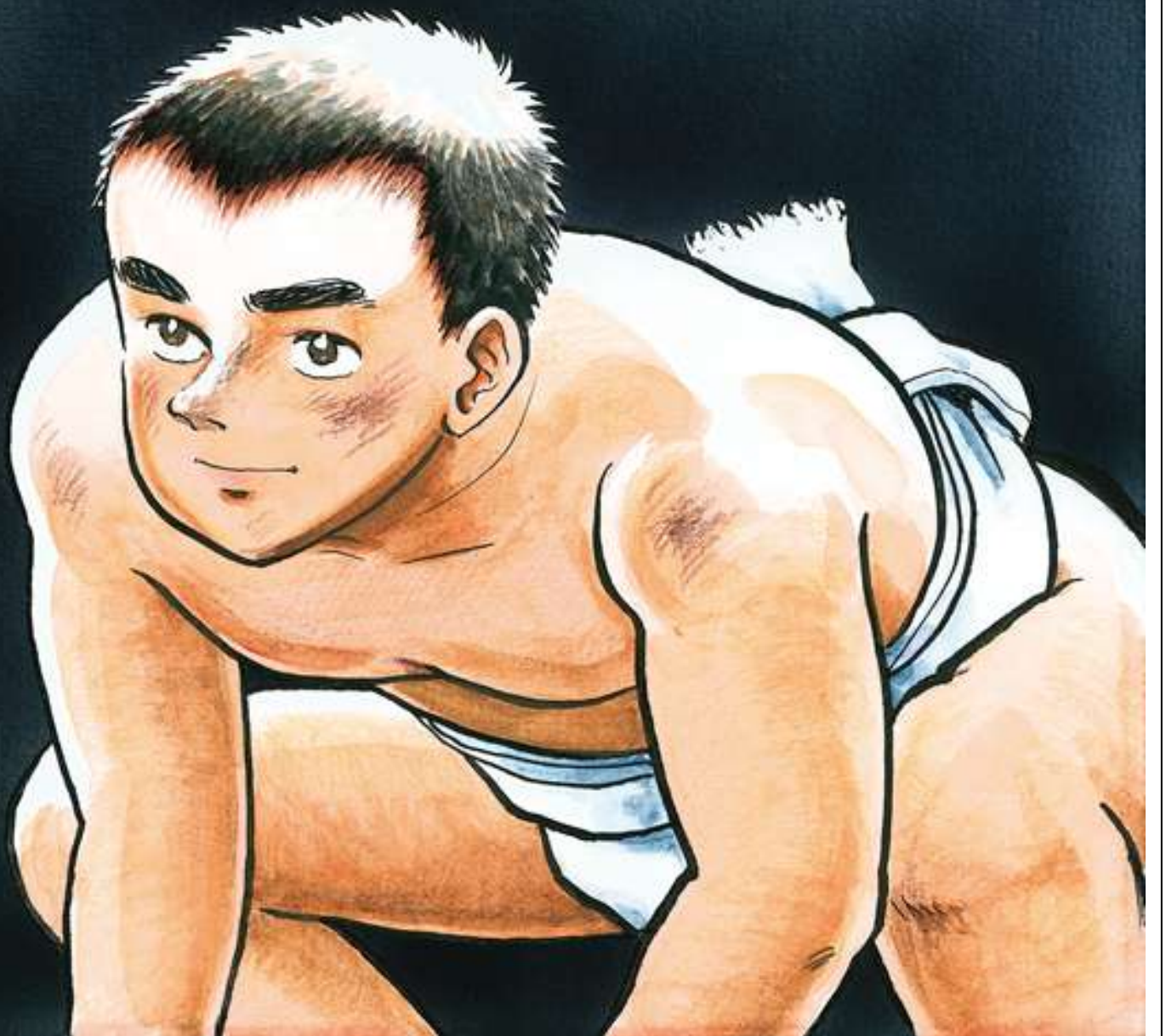


# あすの調布 6月号

第22回  
わんぱく相撲  
東京都大会  
2010年6月27日(日)  
味の素スタジアム内  
カルピス広場





# 例会報告

## 3月例会 あと一步の自分へ

~practice creed for myself~

去る3月20日(火)の3月例会 あと一步の自分へ、practice creed for myself(たづくり映像シアター)、におきましては原島シニアクラブ会長はじめ、金子先輩そして多くの現役メンバーにお越しいただき、真にありがとうございました。

今回は自分にチャレンジし、結果を出すまでを目的に掲げたため、当日に何かを得てもらうことよりも、そこからスタートする機会となる例会を行いました。事前に過去の自分を振り返るためのテストを行っていただき、例会冒頭にはそのテストの解説から始まり、トレーナーの日比先輩(シニ公認トレーナー)指導の下、自らと向き合いながら、自らのチャレンジ目標(My goal)を設定する作業を行いました。みなさんの目標が達成できるようメンバー一同これからフォローしていきますので、是非手を取り合いがんばっていきましょう。質問などはじゃんじゃん当委員会あてに送ってください。



人間力向上委員会 委員長 高橋裕二



## 4月例会

### 『調布なるへそトリビア〜ン検定』

(社)調布青年会議所 4月例会について

4月例会には多くのメンバーの皆さん並びに市役所職員の方々にご来会頂き、誠にありがとうございました。本年度あ

たなと私のまち委員会では、我々(社)調布青年会議所がまちづくり団体だと謳うには、まずメンバー自身が市民としての自覚と責任を再認識する必要があると考えました。その中で、ただ堅苦しく調布のまちの現状についてレクチャーするのではなく、楽しみながら調布のまちに興味や問題意識を抱いて頂けたらとの考え、『調布なるへそトリビア〜ン検定』を開催致しました。多くの皆さんから「調布のまちを改めて知ることができた」「まちを知ること結構楽しい」などの感想を頂き、何とも委員会冥利に尽きる例会でした。

本例会はメンバーがまちづくり事業に取り組む単なるきっかけ作りでしかありません。今後多くのメンバーが様々なまの事情に目を向け、より活発に行動して頂ければ幸いです。その過程で、本事業を市民向けにやってみたいという希望があるならば、今度は委員会メンバーだけでなく皆さんの知恵を拝借しながら、より発信力の伴う事業へ是非とも繋げていきたいと考えております。

あなたと私のまち委員会 委員長 小峯充史



## 5月例会 わんぱく相撲調布場所

「第24回わんぱく相撲調布場所のご報告」

5月16日(日)に調布市役所前広場で開催いたしました。当日は晴天にも恵まれ、多くのわんぱく力士、保護者の皆様のご参加をいただきました。市役所前広場での開催は初めてということもあり、不安もありましたが、無事終了することができました。

今年には東京農業大学相撲部によるぶつかり稽古の披露など、他にも多くの団体のご協力をいただき、大会を盛り上げていただきました。

反省すべき点多々ありますが、子ども達の真剣な眼差し、勝利した時のキラキラした笑顔、あるいは悔し涙する姿に触れ、保護者そして我々メンバーも何か感じ取るものがあつたのではないのでしょうか。今回のわんぱく相撲が、参加した子ども達のこれらの成長の何らかの一助になれば、非常に嬉しく思います。

最後に、ご協賛あるいは様々なご助言をいただきましたシニアクラブの先輩の皆様、そして全ての現役メンバーに心から感謝と御礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

第24回わんぱく相撲調布場所 大会会長 輝け!青少年委員会 委員長 鮎川有祐













ポイクラブの「ポイ」とはハワイでは「芋」という意味があり、サーフィンの国の言葉とJCクラブの芋を掛け合わせた名前になっています。今ポイクラブでは梶原部長、後藤副部長を始め総勢6名から成る組織で、入会に当たっては**本気と書いてマジ**なサーフア

ーしか入れないと言う、**熱い人**の集まりです！

その他にJCBと現役メンバーで構成されている「A2」サーフにも所属しているらしいです。(記事 村澤健太)

サーフィンやポイクラブへの入会希望は、後藤和寛さんまで。  
電話090(3405)4271

# 菅君のぶらり食べ歩き

〜グルメNo.1 JCマン 菅 寛人編〜

こんにちは。08年入会の菅です。仙川の設計事務所(株)グローバル設計)に勤務しております。この度、私のグルメ自慢というお題をいただき、私の趣味であるグルメについてレポートさせていただきます。皆さん、最近巷で話題になっている「ちよいたしクッキング」をご存知でしょうか？



今回、私は記者(齊藤 喜兆)の強制的かつ威圧的な取材により次の「ちよいたしクッキング」に挑戦します。調布といえば「深大寺そば」ですよ！しかしこんな事でおそば屋さんにも協力を頂くわけにはいきませんので、皆様もご存知の「あの蕎麦」で挑戦します。

## 菅寛人 3本勝負



先鋒・チーズ、中堅・ヨーグルト、大将・チョコレート(胃腸が不安です)ではさっそく勝負！あ、喜兆さん「かきあげ」だけは抜いていいですか？「しかたねえ(喜兆談)」鬼の目にも涙。記者にお許しを戴いたところで、熱々のお湯をイン！3分待つて・・・具材もイン！「姉さん、事件です！こりゃあ、別世界ですよ……！」先鋒戦 チーズへえ！きつね蕎麦みたいですね！

うん、まるやかでなかなか合いますね。「まずくはないよね(喜兆談)」おいしゅうございました！結果・・・ヒロトWIN!! 一戦一勝

中堅 ヨーグルト

お腹には良さそうですよね・・・これはまた酸味の効いた芳しい香り。日本の伝統食材をやさしく包んでくれます。酸味がしよゆ味となかなか合いますね。「まずいじゃねえか！お前おかしいよ！」率直な意見はレポート後にしてください。おいしゅうございました！結果・・・ヒロトWIN!! 二戦二勝

大将 チョコレート  
チャーリーのチョコレート工場ですか？最後の戦い、それではいただきます！このチョコがとろけた感じがなんともエロティシズムを感じますね。和と洋が絡まりあって、初めての共同作業！うん、ほどよい甘みがダシの旨みをひきたてています！



結果・・・ヒロトWIN!! 三戦全勝

今回は普通の食べ歩きレポートでお願いします。最後にもう一度申し上げますが、私はグルメにうるさいのが自慢です。○記者より一言菅 寛人君、ご協力ありがとうございました。あと、皆様チョコレートちよいたしは絶対真似しないでください。危険です！

# ソネット偵察隊

## フエンシング

人間力向上委員会／委員長 高橋 裕二  
フエンシングへの情熱。



調布JCのなかでは、あまり知られていませんが高橋さんは素晴らしい経歴をお持ちの方です。福島県出身の高橋さんは、小学校五年生の時にフエンシングを始めました。きっかけは、1999年に開かれる「ふくしま国体」への選手としての出場です。当時の高橋少年はサッカーや他のスポーツでは無理そうだが、フエンシングなら出場できるのではないかと考えました。中学、高校とフエンシングに青春をついやし高校3年生のときには全国大会で(個人サーブル)2位と素晴らしい成績を収め、フエンシングの名門、中央大学に進学しました。大学に入っても情熱は衰えず在学中の4年間1部リーグで総合優勝4回、4年生のときには、主将を務め個人でもサーブル全国3位と素晴らしい騎士道華や

中央大学フエンシング部 白門会



かなりし頃「身をを守る」「名誉を守る」を目的にした剣技のこと」を成し遂げました。いまでこそ北京オリンピックで大田雄貴選手が銀メダルを獲得してフエンシングも注目を集めました。競技人口も少ないフエンシングは実業団も少なく社

会人で続けていくのが難しいスポーツで、高橋さんも大学を卒業して社会人になるとフエンシングから離れていきました。卒業して6年、結婚もし仕事をバリバリこなす充実した日々を過ごしていましたがフエンシングをしていた時に比べ体力の衰えを感じ、なんでもいから体を鍛えようとジムに通おうと思いましたが、住んでいる家から中央大学まで近かつたこともありフエンシング部OBとして大学施設で体を鍛え始め後輩とのフエンシングの練習と、再び情熱をとり戻しフエンシングの大会にも参戦するようになって行きました。そんな中、高橋さんに転機が訪れました立教大学フエンシング部のコーチをやることになり



立教大学フエンシング部 2008年 立教大学フエンシング部

仕事やJC活動の忙しいなか週に1、2回、新座にある立教大学まで足を運び学生達に自分が学んだ剣技を指導しており万年2部リーグで3位4位のチームを優勝に導きました。5月末に入れ替え戦を控えており、もし1部に昇格をしたら嬉しいし、でも次の大会から母校の後輩達と対戦は厳しいなと複雑な心境を話してくれました。最後に、これからも家庭・仕事・フエンシング・JC活動と幅広い活躍を期待しています。

# 気象評論

和☆拡大委員会／副委員長 小笠原 長武

東京では41年ぶりに遅い降雪を記録した四月も半ば、総務ネットワーク委員会の運営幹事、堀内君から連絡があり、以前私がアンケートで解答した三つの趣味のうち「気象評論」について取材をさせてくれなかつたという話を聞いた。

数日後、堀内君と同じく総務ネットワーク委員会の佐藤美和さんのお二人には私の職場までわざわざお越し頂き、何について述べればいいのか話し合いの場を設けた。

「気象評論」というお題を頂戴したものの、気象予報士のような専門的な知識を持つわけではなく、特段面白い話ができる自信もない。アンケートで解答した趣味の残り二つは「音楽評論」と「空想評論」であったと記憶しているが、知識量という点において「気象評論」が一番書きに





くい内容である。

しかしながら堀内くん肝いり、たつての要望なので天候について憶りながらも迷わずに書いていただくとともに、その中で多少の脱線があってもおまわらせて「一承」いただきたい。

アンケートでは「趣味：気象評論」と記載されています。ただいたものの、普段の気象予報などはそれほど興味がなくメディアの情報に対してはもっぱら自身の状態をむしる興味があるのは「日本、特に関東地方において年に数度程度の頻度においてしか起こらない、当地においてには極端な気象現象を肌で体感して観察すること」とである。いや、何も小難しく説明することはない、平たく言えば「雷、雷雨、台風」である。



まず雷、積雪は関東地方、特に関東南部においてはそれ自体がない年もあるという点で極端な気象現象と言える。たまにしか降らず、積もらないから「子供は喜び、皆さんの多くは子供の頃は朝起きて窓から見る一面真っ白になった世界をみて心躍らせ、興奮、雪ダルマを作り、皆で雪合戦をしようとした経験があまりないのではないだろうか。そんな心が躍るような気持ちは普通大人になるにつれて薄れていくものなのだろうが、35歳にまでなっても衰えずそのままはしゃいでいるのがこの私なのである。

関東における降雪量の気象パターンについて概説しておく。日本海側では近傍に低気圧がないいわゆる「西高東低の冬型気圧配置」の状態ではペリナ方面からの寒気のみで降雪が起るのに対して、太平洋側ではある特定の経路において低気圧が通過するときにのみ降雪が起る。特定の経路とは低気圧が八丈島付近を西から東へと通過する経路である。これより南を通過すると寒さは十分だが何も降らない。またこれより北を通過するとよく降るが、降ってくるのは雨である。

また日本海側においてはよく冷える日が雪の降る日と言ってもいいのだが、太平洋側においては必ずしも冷える日と雪が降る日が一致しないのが特徴で、雪が降るのに十分な寒さなのに風ばかり強く、曇ひとつない晴天と言つのが関東地方における冬型気圧配置の日の典型的なお天気である。

太平洋側の都市なのに冬型気圧配置で降雪がよくあるのは名古屋。日本海側の雪雲が太平洋側に流出するのを阻んでいるのは、高いところでは300メートルを超えると本州を縦貫く長大な山脈であるが、そこが途切れているのが伊吹山脈と鈴鹿山脈の間である。この隙間を日本海側の雪雲が通りけるため、名古屋では太平洋側の都市にもかかわらず冬型気圧配置でも降雪が見られるという特徴を持つ。ただその場合でも多量の降雪があるわけではなく、名古屋で積雪が多くなるのはやはり南海上を低気圧が通過するパターンである。しかるに降雪を記録する日数は多いが積雪の頻度は関東地方と比べて変わるわけではない。

インターネットが発達した昨今、気象庁のホームページはもとより、様々な機関から様々な気象に関する情報を簡単に得ることができ、関東地方における過去の積雪の記録としてよくまとまっているサイトがあるので紹介しておく。

関東地方大雪データベース (<http://www.kret.ne.jp/~370net/snow-data.html>)

先日4月14日の降雪がいかに極端な記録であるかがわかることも、私がどれだけ興奮したかお察しただけは幸いである。

夏の風物詩といえば、カキ氷と甲子園。そして入道雲。入道雲の下では往々にして激しい雷

雨となり、時には災害をも引き起す極端な気象現象という側面を持つ。

一昨年の夏には天候不順が続きあちこちで雷鳴がとどろき、その予測不能な降水パターンから「ゲリラ雷雨」なる言葉が誕生したのが記憶に新しい。梅雨や秋雨など前線性の降水はかなりの降っているなという感じでも時間雨量10ミリにもならないことがほとんど。しかし雷雨となる時間雨量30ミリを超えることはめったに、時には100ミリを越す場合もあるが、「こうなると土砂降り」という表現をこえて、おそろしく恐怖を覚える降り方である。

災害を引き起す現象を面白いと表現するなど不謹慎なことか、と我々気象愛好家は批判を受けることもあるが、その誰一人として災害は望まず、できることなら災害が目前に迫っていればその危険性を広く知らせたいと願うのである。興味深いと思つ対象はあくまでも普段あまり体験できない気象現象そのものであるのだ。



気温が30度を超えるような夏の午後、上空に寒気が流入すると、だいたい午後2時くらいには遠くの方まで入道雲がもくもくと湧き始める。程なくすると雷鳴がかすかに聞こえ始める。通常の降水である降水域は西から東へと移動していくも、この段階になると私はインターネットで降水の状況のレーダー、落雷のレーダーをチラッと見始める。通常の降水である降水域は西から東へと移動していくも、この段階になると私はインターネットで降水の状況のレーダー、落雷のレーダーをチラッと見始める。通常の降水である降水域は西から東へと移動していくも、この段階になると私はインターネットで降水の状況のレーダー、落雷のレーダーをチラッと見始める。

近づく雷鳴が轟き、雨が激しくなると私の中で祭りが始まる。空を見上げ、雨樋から大量に流れてくる雨水を見、降水強度最大を示す赤い部分が調布付近を覆うのを見る。そして雨上がり。降水によって気温は一気に5度は落ち、涼しくなる。雨に淀んだ空も地表も洗われ、さわやかな空気、街灯が雨に濡れた道路に反射し、空には星、これもまた風流。

夏後半から秋にかけては台風シーズン。台風は「存知の通り風と降水量が極端となる気象現象」が台風に注目し始めるのは日本に接近するところからではなく、その2週間ほど前、はるか南海上、また台風の卵である熱帯低気圧の状態のころからだ。このころにチェックすべき項目は衛星赤外線画像によるその雲のまとまり方、衛星水蒸気画像による水蒸気の熱帯低気圧への供給状況、一帯の海水温、上空の風の流れ、気圧配置などである。これらの総合的な状況によりどれだけ発達してどの進路を取るかを予想する。

台風というものは軍事的にも大きな意味を持つ。台風が来て大風が吹けば船も航行できないし飛行機も飛ばない。守るも攻めるも不可能になってしまうし、何よりも災害を未然に防ぐという意味で、各国進路予想は軍も民間も通常の天気予報以上に力を入れている。各国の台風に対する情報の多くは一般にも公開され、それらを比較する中で発見した興味深い事例は、国によって予報の傾向が少しずつ違つていくことである。傾向として日本の気象庁はトリッキーな動きを予測・表現するの得意で、米軍予報は質素剛健、豪放磊落だがさすがよく当たるといふ印象がある。また韓国気象庁は台風が韓国に来てはしくないとこの願望を持ちつつ予報し、台湾は自虐的に台湾に来てしまつて予報をしがちなような気がする。あくまでも印象なのだが。

雷や雷雨の時とは違って、台風の再接近時は悠長に外に出て観察というわけには行かない。危ない。やばい。死ぬ。以前台風を肌で体感しようとして外に繰り出して痛い目にあった。台風ばかりは「こちらへ来ないよう願う、できれば人の住む島もないはるか南海上で最大勢力となった台風の衛星画像を眺めながら悦に入るのがいいのかもしれない。

さほど知識はないとはいえ、普通の人は気象に興味を持つことはここまでお読みになればお察しただけではないだろうか。そもそも私の興味のコマとなっているのは地理学であり、気象は地理の関連分野というところまでできる。そのほか、地理の関連分野として興味があるものは

交通インフラがある。鉄道路線、一般道、高速道路。特に一番好きなものは空港である。世界のまじった空港であれば滑走路が何本あってこの航空会社がハブとしていたりかは把握している。私にとって Google

ときは至極の時間である。滑走路の配置、立ち並ぶ飛行機、個性的な造形のターミナルビル、そして空港と町とをつなぐ道路、変態である。下巻である。

堀内君から調布と飛行機にまつ話をしてくださいとこの要望があったのでひとつ。調布空港からは基本的に大島、新島、神津島と3路線しかないが、乗り継げば調布空港から海外へ旅行することも可能である。大島からは羽田便もあるので、調布大島一羽田と乗り継げば、羽田から国際線が飛ぶまではそこから海外へと脱出できる。羽田から海外便がないころは、調布大島一羽田一伊丹一成田と乗り継いで海外へ行くという馬鹿な計画が私の夢であった。そんなに乗り継ぐ必要のなくなった今だからこそせひ子供のころからの夢であった調布から海外へ行くという夢をかなえたいと思っている。

自分も行きたいという方がいらついたら是非一緒にしたいところである。これぞ調布市民の夢！

話が冗長かつ退屈になってしまったかも知れないが、ここまでくれば毒食わば血まで、どうせ濡れるなら泳ぐ勢いで、もつひとつの趣味音楽について。洋楽好きな母親の影響もあって、小学校のころから今に至るまで洋楽しか聴かないといういわゆるいやな感じの人間であって、高校時代にはハードロック・ヘビメタの洗礼を受けるもその時期が過ぎるとビートルズに興味を持ち出す。ビートルズのアルバムを全部買ってしまつとビートルズと同時期に活躍した似たようなバンドに興味を持つ。そのブームも終わると今度はその人たちが影響を受けた黒人の音楽、ブルースに興味を持ち出す。ブルースをきいて黒人音楽の素晴らしさに惚れ込むと、今度は60年代の黒人音楽、70年代の音楽とすすんでいき、とりあえず現在までのR&Bの流れを把握してしまつと、今度はジャズ、という風にジャンルとジャンルをつないで音楽を聴いてきた。

☆気象庁  
気象に関する基本的な情報はだいたいここで得られる。  
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

☆東京電力雷レーダー  
どこで雷が落ちているかがリアルタイムでわかる。  
<http://thunder.tepco.co.jp/>

☆デジタル台風  
よくまとまった台風のデータベース  
<http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/>

☆電気通信大学 インターネット百葉箱 (休止中)  
調布の気温、降水量などがグラフで表示される。  
ただし現在休止中。  
<http://weather.cc.uec.ac.jp/>

☆成蹊気象観測所  
<http://www.seikei.ac.jp/obs/index-j.htm>

☆米海軍台風情報  
[http://www.nrlmry.navy.mil/atcf\\_web/index1.html](http://www.nrlmry.navy.mil/atcf_web/index1.html)

これは先述の地理関連趣味との共通点を見出すとすれば、二つ以上の事象において、それ互いのコトクシオンを発見するところに面白みを感じていくところではないだろうか。終わりがな



いし何より楽しい。

さて、話が抽象的に、かつメタ思考的冗漫さを帯びてきたところで終いにしなくてはならない。人に気も使わずに自分の好きなことを書いてそれを人様に見てもらい、どうですか、面白いでしょ、などとふんぞり返ることは非常におこがましいことであるのだが、今回そんな機会を与えてくださった総務ネットワーク委員会の皆様には深く感謝申し上げたいところであり、とくに今回編集者となり好き勝手やることをお許しいただいた堀内君、お忙しい合間をぬってわざわざ私の職場まで来てくださった佐藤美和さん、ありがとうございました。

# 東京アパッチ



記者☆ 総務ネットワーク委員会 住 友宏

4月17日、国領神社にてプロバスケットチーム「東京アパッチ」と社団法人調布青年会議所の懇親会が行われました。「調布の街にプロバスケットチームを誘致する」スポーツを通じた街づくりを実現するため約70名の方々が集まりました。「調布の街にプロバスケットチームを誘致する」という題目は今年のJC事業ではありませんがJCシニアクラブ会長の原島会長とBJリーグ社長、中野社長がJC活動を通じて旧知の仲だった為、実現。来シーズン、今年10月には東京アパッチが調布の地で開幕戦を迎える予定。開幕戦はみんなまで応援して、スポーツを通じて調布を盛り上げましょう。



## 投稿記事紹介

### ポイクラブ活動報告(第1回例会) 梶原良介

去る4月3日(土)と4日(日)にかけて、今年度よりクラブとして立ち上がった調布JC「サーフィンクラブ」(ポイクラブ)の第1回例会が開催されました。

実は、2007年度よりOBと現役の有志で「A2 surf」というサーフチームを立ち上げており、年に2〜3回の例会を開催していた関係もあり、我々ポイクラブの活動は必然的にA2 surfと合同で活動していくこととなります。

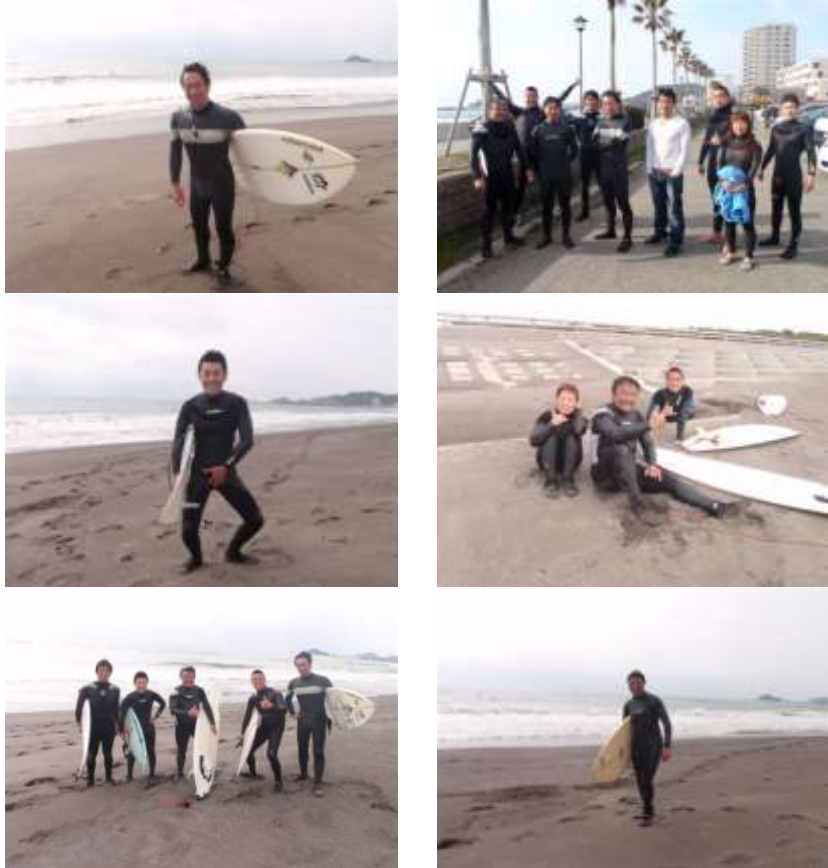
今回の参加者は、OB3名・現役4名・外部メンバー3名の計10名でした。一日目の土曜日の波は最高で、駐車場の無いポイントとい

うことで人も居なく我々で貸し切り状態!

みんな興奮のあまり「ヒュー」とか「イエーイ」とか「ワ〜」とか「ギャ〜」とか奇声を発しながら最高のFun Surf!! その夜は、恒例のお好み焼き屋(店主・店員さんもサーファーの店)で食うは、飲むは、騒ぐは.....半澤先輩が手配してくれたサーフポイント傍のタワーマンションに戻って更にハイボールを飲みまくりました。因みにムラトモさんは、かなりの酔いっぷりで「このオカマ野郎〜」などと意味のわからぬ事を何度も繰り返して言っておりました(汗)

2日目にはゴッチャン・シントロウ・半澤先輩が合流し、更に大人数で海へ繰り出しましたが、残念なことに波は良くなり、この日1日の参加メンバーは消化不良のまま解散する事となってしまいました。自然を相手にし、その恵みに預かりながら楽しむスポーツですから仕方ない事です。一緒に来たゴッチャン・シントロウペアは、満足で

きず午後別ポイントに移動してサーフィンをしたようです。



## インフォメーション

### 2月総会アンケート結果

アンケート実施日時:平成22年2月23日(火)

アンケート対象:社団法人調布青年会議所 正会員75名

回答者:第41回通常総会に出席した43名(57.3%)

1. 全員にお聞きします。(複数回答可)

仕事、JC、家族サービスの他に何か打ち込んでいる趣味はありますか?

・ある。27(51.9%) ・ない。6(11.5%)

・仕事が趣味、JCが趣味。5(9.6%)

・あるけれど言いたくない。2(3.9%)

・これから何かやってみたいと思っている。12(23.1%)

2. 設問1で(■ある)とお答えいただいた方へ質問致します。

その趣味の内容と場所、頻度について具体的に記述して下さい。

例 内容/場所/頻度/誰と?

スポーツ系

・オートバイ/関東周辺/3月に1度/1人

・レース/サーキット/月2〜3回/友人

・車/道/運転するとき/沢山

・自転車/周1回/1人〜4人

・スポーツ全般/どこでも/週1回

・スポーツ等(運動不足・健康のため)

・ウエークボード、水上スキー/江戸川、富士五湖/月1回

・スノーボード/雪山/年5〜6回/友人

・スキー/スキー場/月1〜2回/友人

・スキー/群馬、長野、新潟/シーズン3回/妻、友人

・サーフィン/千葉外房/週1〜2回/JCメンバー

・サーフィン/水辺/家族の許しがたとき/1人

・サーフィン/千葉/週1〜2回/友人、その他

・サーフィン/千葉/週1回/2〜5名

・ゴルフ/関東地方/月4回/色々

・ゴルフ/関東/月2回/仲間

・野球/東京周辺/春〜夏/月1回/友人

・野球/関東村/今年は無理/チーム

・草野球/池袋/月1回/チーム

・フットサル/自宅近辺/週1回/友人

・アメフト観戦とPLAY/色々/気分次第/友人

・釣り/色々/年数回/1人、妻

・海釣り/東京湾、相模湾/月1回/妻、友人

・釣り/海、湖/2〜3ヶ月に1回/友人

・ランニング(マラソン)/皇居、その他大会/月1〜2回/マラソン仲間

・サバイバルゲーム/千葉/年6〜8回/友人

・山登り/日本/年2〜3回/友人

・フェンシング/大学体育館/週1〜2回/学生

インドア

・JAZZバンド(トランペット)、ライブ音楽鑑賞

・レゲエ/自宅、その他/気分次第/友人

- ・空港、音楽、天候評論／自宅／いつでも／1人
- ・読書／自宅、移動時間／1人
- ・読書／どこでも／ほぼ毎日／1人
- ・戦場の絆ガンダム／ゲームセンター／週4回／1人、仲間

地域

- ・軍団づくり／会社・地域／毎日
- ・JC／調布市内／週2回
- ・消防団／調布市内／月2回
- ・FC東京を応援する／味スタ、各地／シーズン中／友人
- ・FC東京サポーター／味スタ及びアウエー／試合に行ける時／娘、友人、1人

旅行・食・観察

- ・旅行／日本海外／年2〜3回／友人
- ・妻とのデート／渋谷、池袋、グアム、マウイ／随時／妻
- ・食べ歩き／どこでも／できるとき／1人、妻、友人
- ・写真撮影／いろいろ／最近撮っていない／1人
- ・写真／色々／不定期／1人

その他

・浅く広くの為、これといった物はありません。

3. 設問2に記入いただいた方へ質問致します。

総務ネットワーク委員会が記入された趣味を取材してもよろしいですか？

- ・取材して良い。 14 (45・2%) 取材されては困る。 6 (19・4%)
- ・条件付きで良ければ、取材可。 9 (29・0%)
- ・一緒にやること 対林建設の試合であれば 職場が良ければ 顔モザイク
- ・その他 2 (6・4%) 最近撮っていないので

4. 全員にお聞きします。

今後「あすの調布」に掲載された内容をきっかけに交流の場を増やしたいと思いませんか？

- ・趣味が合えば交流したい。 32 (74・4%)
- ・新しいことを始めたいので交流したい。 10 (23・3%)
- ・交流はできない。 0 (0%)
- ・その他 1 (2・3%) シニアになってから現役と交流のきっかけにしたい

5. 全員にお聞きします。

「あすの調布」では是非取り上げて欲しい内容がございましたら記入願います。

- ・調布の良いところをメンバー皆で発掘していきませんか？調布の隠れた名所等
- ・調布市内イベントマップ等
- ・調布周辺のグルメ情報（人が知らない様な）
- ・メンバーの仕事紹介（産業経済に因んで）
- ・会員職場訪問
- ・皆さんの具体的な仕事のことなど
- ・メンバーの業務1日密着
- ・メンバーの1日スケジュールを1週間分
- ・仕事や家庭でのトピックス、こぼれ話

- ・メンバー紹介。HPに掲載するなら動画
- ・JCの楽しみ方
- ・過去の武勇伝とか
- ・出向者報告
- ・JC以外でまちづくり等に関わっている方の紹介OBも含めて消防団、地区協
- ・サーフィン
- ・美肌の方法（調布のお店）

※傾向として「調布のこと」「メンバーがどの様に仕事をしているか」「地域や地域に眠るお得な情報」等を欲しがっている様に見受けられました。

2010年度新入会員紹介



#528 大塚 和哉 (おおつか かずや) 36歳 O型  
勤務先・大塚工務店 代表



#529 加藤 百恵 (かとう ももえ) 35歳 AB型  
(株)JMK 代表取締役



#530 田村 芳樹 (たむら よしき) 39歳 O型  
フロンティア(株) 町営事業部 部長



#531 細川 新 (ほそかわ あらた) 37歳 A型  
ゆうしん(株) 顧問



#532 畑野 政大 (はたの まさひろ) 33歳 A型  
多摩電設工業(株) 専務取締役



#533 深町 弘之 (ふかまち ひろゆき) 39歳 O型  
(株)三和式典 常務取締役



#534 高橋 良太 (たかはし りょうた) 35歳 O型  
(有)安田企画センター 専務取締役



#535 平松 明 (ひらまつ あきら) 36歳 AB型  
クローバー法律事務所 弁護士



#536 木村 文秀 (きむら ふみひで) 36歳 A型  
タイヨー建装 代表



#537 宮澤 学 (みやざわ まなぶ) 33歳 AB型  
宮沢設備工業(株)

編集後記

調布青年会議所メンバー及びシニアクラブの諸先輩方、最後まであすの調布をお読みいただきありがとうございます。今月号では、メンバーの普段みられない姿が垣間見えたのではないのでしょうか。我々総務ネットワーク委員会が編集を担当する「あすの調布」が、ただ情報を発信する媒体としてだけでなく、メンバーの相互理解を深める一助になるようでしたら、これ以上の喜びはございません。読者の皆様におかれましては、「自分はこんな隠れた一面があるんだ！」というものが、ございましたら是非、当委員会委員までご連絡ください。

総務ネットワーク委員会 堀内信宏

あすの調布 2010年度 6月号

発行 社団法人調布青年会議所 〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-5-9 電話・ファックス042(485)9630

編集 総務ネットワーク委員会

委員長 小山晃一郎・副委員長 和田勝幸・運営幹事 堀内信宏・会計幹事 榎本陽介  
委員 栗原廣貴・齋藤喜兆・佐藤美和・佐藤優・住友宏・中島茂雄・村澤健太